

第1学年数学科前期中間テスト問題用紙

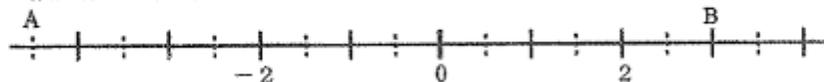
*解答は、すべて解答用紙に書きなさい。

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の数を、正の符号または負の符号をつけて表しなさい。

- ① 0より4大きい数 ② 0より $\frac{1}{3}$ 小さい数

(2) 下の数直線上で、A、Bの表す数を正の符号、負の符号を使って書きなさい。



(3) 次の数について、あとの各問いに答えなさい。

3, -7, $-\frac{3}{2}$, 0, -1.8, +5, 1.5

- ① 整数をすべて書きなさい。
 ② 負の数をすべて書きなさい。
 ③ 自然数をすべて書きなさい。
 ④ 絶対値が等しい2つの数を書きなさい。
 ⑤ 小さい順に並べなさい。

(4) -4 と -10 の大小を不等号を使って表しなさい。

(5) 「-10分前」を負の数を使わずに表しなさい。

(6) 「5個少ない」を「多い」を使って表しなさい。

(7) 次の数の逆数を求めなさい。また、③の答えが正しいことを逆数とは何かを示し、説明しなさい。

- ① $-\frac{4}{7}$ ② +9 ③ -0.5

(8) $(-5) + (-2) - (-1) - (+3)$ について、次の各問いに答えなさい。

- ① 加法だけの式にしなさい。
 ② ①の式を+()を省略して、項の式にしなさい。
 ③ 計算しなさい。

(9) $8 - 10 + 2 - 5$ の正の項を○で、負の項を□で囲みなさい。

(10) 次の□にあてはまることばを書きなさい。

$$\begin{aligned} & -6 + 4 - 2 + 5 \\ = & +4 + 5 - 6 - 2 \\ = & +9 - 8 \\ = & +1 \end{aligned} \quad \begin{array}{l} \textcircled{1} \text{加法の } \square \text{ 法則} \\ \textcircled{2} \text{加法の } \square \text{ 法則} \end{array}$$

2 次の計算をしなさい。

- (1) $(-25) + (+13)$ (6) $(-7) + (-9) - (-13)$
 (2) $(-27) - (-17)$ (7) $-12 + 23 - 11 + 16$
 (3) $-19 - 24$ (8) $(-6) + (-12) - (-20) - 11$
 (4) $+1.6 - 2.4$ (9) $9 - 12 - 5 - 8 + 7$
 (5) $-\frac{1}{2} - \frac{1}{3}$ (10) $-4 + (-7) - (-6) - 2$

3 次の計算をしなさい。

- (1) $(-4) \times 7$ (6) $\frac{1}{2} \times (-\frac{1}{4})$
 (2) $(-7) \times (-8)$ (7) $-\frac{6}{7} + (-\frac{2}{5})$
 (3) $(-35) \div (-5)$ (8) $(-6) \div 2 \times 5$
 (4) $21 \div (-14)$ (9) $3 \div (-\frac{9}{14}) \times \frac{8}{2}$
 (5) $(-6.3) \div (-0.7)$ (10) $(-4) \times (-7) \times (-25)$

4

次の表は、プロ野球パシフィック・リーグにおける2006年から2010年までのホームラン王（その年にもっとも多くホームランを打った選手）が記録したホームランの数をまとめたものである。40本を基準にして、それより多いときはその差を正の数で、少ないときは負の数で表している。これについて、次の問いに答えなさい。

年	2006	2007	2008	2009	2010
基準との差(本)	-8	+3	+6	+8	-7

- (1) 2010年のホームラン王が打ったホームランの数は何本か。
- (2) 2009年のホームラン王が打ったホームランの数は、2006年のホームラン王が打ったホームランの数より何本多いか。
- (3) 2006年から2010年までのホームラン王が打ったホームランの数の平均は何本か。

5 次の表で、たて、横、ななめのどの3つの数を加えても和が等しくなるように空らんをうめなさい。

8		
	3	
-5		-2

6 ある数を-4でわるのをまちがえて、ある数に-4をかけたため、答えが-48になった。正しい計算をしたときの答えを求めなさい。途中の計算式も書くこと。

7 次の表は、ある工場の生産数を、前日とくらべて何個多いかを示したものである。次の問いに答えなさい。

日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
前日とのちがい(個)	0	-5	+8	+3	-3	+2

(1) 各日の生産数を、3日の生産数とくらべて何個多いかを示す表に書きかえなさい。

日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
3日とのちがい(個)	0	-5				

- (2) 6日間で生産数をもっとも多かった日はいつか。
- (3) 4日と7日の生産数をくらべると、どちらの方が何個多いか。
- (4) 8日の生産数を100個とすると、3日の生産数はいくつか。

8 \odot は正の数、 \triangle は負の数で、 $\odot + \triangle$ が正の数であるとき、 \odot 、 \triangle 、 $-\odot$ 、 $-\triangle$ 、 $\odot - \triangle$ 、 $\triangle - \odot$ を小さいほうから順に並べなさい。

9 Aさんは、 $(-\frac{2}{5}) \div 20 \div (-4)$ を次のようにまちがえて計算してしまった。まちがえた理由を書き、正しい計算をし、答えを求めなさい。

Aさんの計算

$$\begin{aligned} & (-\frac{2}{5}) \div 20 \div (-4) \\ &= (-\frac{2}{5}) \div (-5) \\ &= (-\frac{2}{5}) \times (-\frac{1}{5}) \\ &= +(\frac{2}{5} \times \frac{1}{5}) \\ &= +\frac{2}{25} \end{aligned}$$

10 下の式の□の中には、 \times か \div を、○の中には $+$ か $-$ を入れて、計算の結果がもっとも大きくなるようにする。□と○に正しい記号を入れ、できた式の答え求めなさい。

$$(-\frac{3}{4}) \square (\bigcirc \frac{8}{3}) \square (-\frac{1}{2})$$

